



図書館 だより

図書館 ☎69・3706

今回は、児童書『雷ゴロン坊』や紙芝居『あいうえおともだち』などの作者である市内在住の小田順子さんにお話を伺いました。



■小さいころ読んでいた本は何ですか？

とにかく『フランダーズの犬』が好きで。それとね、しあわせごっここのポリアンナ(『しあわせなポリアンナ』)。「しあわせごっこ」っていうタイトルで私は読んだんだけどね。その2冊がとにかく好きだったの。

■子どもたちに読んでほしい本は？

『てがみをください』っていう絵本。絵は、村上勉さんが描いてて。

絵本って、楽しいだけの絵本と、それから何か考えさせられる絵本とあるじゃないですか。楽しいだけの絵本も、とっても心が安らぐから良いんだけど、『てがみをください』は何か、すごくこう考えさせられたの。



『てがみをください』
やましたはるお／作
むらかみつとむ／絵

孫たちに言うんだけど、退屈だな、やることがないなっていうときに、本の楽しさを知ってたら退屈な時なんか無いよってね。

■一番衝撃を受けた本は何ですか？

佐藤愛子さんの『戦いすんで日が暮れて』。それを読んだ時は「この人すごい！」って思ったの。他の作家さんでも「上手だな」と思う本はいっぱいあるの。でも、すごいって思ったのはこれかな。あのバイタリティーはどこからくるのか…、運を本当に自分で呼んでる人だなんて思いました。で、みんなに絶対これ読んでみてって薦めとる。最高だ。

貴重な言葉をたくさん
いただき、ありがとうございました。



「水族館は高いか安いかわかるか？」

■水族館界は仲良し

我々水族館職員は他の水族館へ行く時、無料で入ることができま。生き物の交換で付き合いがある水族館はもちろん、年に何回かある会議で知り合った職員の水族館に行くこともあります。知的財産の保護が叫ばれ、会社の生き残りを考える現在なのに水族館業界はどことも仲が良く、情報の共有や飼育法の公開など、かなりオープンです。他の会社ではあり得ない

ことです。

しかし水族館って普通に入ると入館料がとっても高いです。高いわけ

水族館の入館料が高いのには理由があります。まず、生き物たちの飼育に膨大なお金がかかっていることが大きな原因です。そして、エサ代はもちろん、電気代や水道代などもかかります。入館料のほとんどは生き物たちの維持費なのです。言い換えれば、皆さんがお金を出して生き物たちを間接的に飼っているようなものです。



学芸員 小林龍二

竹島水族館
☎68・2059

私営の水族館は利益を出さないとやっていけないので、それも上乗せされ、とても高いです。最近では2千円を超える入館料の私営水族館も多く、家族で入るとかなりのお金がかかります。同じ魚を見るのであれば、高い水族館に行くよりも、100円の回転寿司で魚を食べた方が、はるかに安上がりでお腹もいっぱいになるのではなからうか。それでも年間3千万人が水族館を訪れます。それだけ水族館には入館料に勝る魅力がたくさんあるのですね。

■安い水族館

比較的高い水族館に比べ、動物園は結構安いことが多いのですが、これは公営が多いから。公営の入館料、入園料が安いのは来る

人も来ない人もみんな、あらかじめ税金というかたちで料金を払っているというカラクリなので来ないと絶対、損なのです。

竹島水族館も大人500円と水族館なのに破格なのは公営(蒲郡市の持ち物)だからです。竹島水族館は500円で常時450種類ほどの生き物を見られるので計算上、生き物1種類当たりに対する観覧料は全国に100以上ある水族館の中でもズバ抜けて安いのです。割引券を使えば、生き物1種類あたりの観覧料はおそらく全国1位の安さです。ワンコインでアシカショーまで付いて、たくさん水族を見て楽しむ、おまけに飼育員とも仲良くなれる水族館は他にはないのですよ。